

ブラジル・サンパウロ市
編輯兼 日本新聞社
發行人 中西周甫
購讀料

でも精神的方面の影響に多大な影響を及ぼすことである。日本銀行の欠陥ある事を明かに立證して社會に其の責任を感じ、再を云々す可き場合ではない。

訪問記者に對して痛然たる此批評を浴びせかくる傳道者すら此に至つた。

臨時議會は六月一日開院式より此度の白川大幹義に對り合せて一、二名を選任す

三日開會の事になつたが開會し衆議院として承認を表明し大旨提議したので具體的問題

粵閩外交に於て行政方針及び外方方針の演説の草稿は委員長選挙後養成發露に依はる三十一日の閣議に持ち越

さきに問題の主人公なる宇野三十日の臨時閣議で決定したる左の文案を可決する事に決れる事となつた

云々と断じ、更に又「政界の要事となつた」
一つの一般批評が盛構の目的である
事をこの點に對して證明し、政界の平化
と眞ふやうな人を介した運動！

施政方針演説の大綱は對支滿
の事を内閣總領事のでも証明
政策の確立　人心不安の一
軍現の振盪　軍現の振盪

派遣軍司令官陸軍大將從一
位勳一等功勞男爵日川善
則若の不慮の災禍に罹り、
其の不幸を哀悼する。再拜と

歐務省問題閣議に政友會の議
を見るに至つた模様　歐務
與官席談話稿如左

員の所業などとも右してゐる。外交方針演説の内、齊藤首相は外務大臣に内田康
 雄に對して在伯新方針新聞答は對支滿蒙問題の經過を述べ、鐵腕政策を徹底起用するに決し
 が此事を取扱ふに決して誇張し、今後の方針を詳述し更に昭和六年六月の岡谷氏の東京を待つ
 文藝を弄して「報事」たるを勿論並置で一般外交關係を述べ更に露清外交は英蘭葡を立
 上蘇俄派遣陸軍は五月三十一
 陸軍省發表サンパウロ總
 事組發電

奉口の日がどの位に差つたか
外人が如何なる眼を以て日本
人を見たか、数市日本人會館
に於て、昨十一月八日の功勞者文
藝院は十一時開院で開院式を
舉行諸事をなし、衆議院開
院式終了後本會館を開き、秋
中川健藏氏
凱旋
上海方面で赫々たる武功を
柿田郎團長
台灣總督は

上海事變
圓卓會議
各派交涉會
可決救會の答
て之を輕々に取扱ふ可き問題
ではない筈である
二の力行會員の所業が全
てを決して疑はざる出来事とし
て之を輕々に取扱ふ可き問題
ではない筈である

政務官争奪

事に決定した模様
開催時期
閣議の議題
閣員は未定であるが、最
少二、三日に五回以上行
なされる予定と見られる。
政友会からの政務官選任に付、居り人選には波瀾あらん
といふ。この間、各派の
事業等に信仰を高調して過
激主義を力言する、所々
とした少数団体ののである。

信仰にあきまるる団体、海外植民

主張より見ては須く社會に對して當然の收穫を負ふ可きであらまいか。

其の爲めには大藏を民政に譲るも止むを得ないと決意してざる事明かな故。首相は五月

上海事變の
滿蒙

諸の問題となる見込であら

海軍は最大級の敬意を表し
軍艦龍田を派して護送す

暗殺團
西田大尉を狙撃し
○を調査した○○
として
は悲しくもなびいてゐる 各
變の陸
艦部協
東京驛頭は涙の人を以つて埋
められ薄曇りの空の下に弔旗

同様に
ムへ登列 又在京部隊將士
在郷軍人團等數千名驛前に出
迎ふ 午後三時三十五分物悲
愴さんとした事判

五轉目の豊松事に安國された
遺骸は 令嗣吉政 武藤 眞
崎 小磯諸氏を始め幕僚一同
の手に支へられて豊松運搬車
五月廿九日株式始
場一齊に米國の金
機會に 不安状態

車六輛 驛に來りて遺骸を迎へ 靈柩を葬はし 病人と十分東 の前に恭々しく敬禮すれば 演ずるに至つたる事に 並び居る遺族始め出迎へる者 倭幣引値 由糸十銭 短期新東百

てゐた
斯くて靈柩は金謀本部差廻し
の靈柩自動車に移乗、三じ五
十分過ぎは佐々木大山の自邸
最近米國の金流出

祈るものであつた

部長の宮

と云ふ今年の最高
した 然も二十七
更に三〇〇萬下
州と賣出す事とな

調元 犬養木堂の
はる旨 シュ相 遺書
ねーか
FILOS "Durabilidade
es do mundo

一、葬儀は質素を旨とし告別式は近親者だけで営む事
二、墓石にはたい大養毅の墓として位階勳等を記さず

で舉行 三 墓地は東京の然る可き所
泊期間 とする事
親しく 如何にも人間木堂が躍如とし

田 包亮
崎 喜太郎
村 休助
線 アルヴァ

知度キニ付
向ハ至急當

總領事館

鐵の

二、他日金、

金 送
又 かつ
と

金預	日	分	伯	伯
定	本	二	貨	貨
期	化	厘	定	定
	定			

リオ

同

[illegible]

サントス市
珈琲コミサリオ
カーザ東山
ミツカミ・イ・コンパニア
郵面 九二號
電話・二二八三七號
電信略號「TOZAN」
弊店取引方法は御照會
次第御回報申上候

齒科醫
金城山戸
敷市コンヂツササン
ジヨアキン街二六番
電話七一三三八四番

醫師 山田隆次
 最市コンデサルゼーダス二〇
 電話 二一六八八

醫學士
齊藤等
電話二六九

大坂

◆ 日伯をつなぐ定期航路

〔各線共 命定定期毎月一回〕

◆ 南米線（北米パナマ經由日本行）
日本より モンテビデオ丸
七月二日 サントス着
リオデジャネイロ丸
六月三十日 サントス發

商船株式會社

日本よりマニラ丸
六月廿六日 サントス着
日本へマニラ丸
七月八日 リオ發
七月十一日 リオ發

代理店

SANTOS-HOLDER BROTHERS CO.LD.
Rue de Commerce 34 Cas Paillet, 288
S. PAULO-THEODOR WILKE & CO.LTD.
Rue Lherie Belair, 52, Telp. 43252

●北米經由日本行サントス出帆時刻は
午後六時、御乗船は午後二時以後に
願ひます。

サントス駐在員 宮崎 進



(富豊品庫在)

que lhe remeta gratis o modo pratico para gradu
Para o interior, porte gratis. — **CASA GOMES** —
S. PAULO

醫學博士

高岡專太郎

市街四十五番地
電話 二一四〇七五

イルマンシンブリシナ街二〇

村上浩資商店

食部
製菓部

本二一五街三

Banco Especie De Yokohama Ltd.
 (The Yokohama Specie Bank, Ltd.)
 Rua da Candelaria NQ. 23
 Caixa postal, 380—Pio de Janeiro

[illegible]

((O Expresso de Shanghai))

「ねえ、君は恰度いいところへ乗りあはせなせよ。この列車に誰が乗つてゐるか知つてゐるかい？」

「いや、一向に知らないよ。誰が乗つてゐるんだ？」

「誰が？ 君、あれだよ。例の故の女、上海リイが乗つてゐるんだ。」

「上海リイ？ つか？」

「知らぬとは云はせんぜ、支那では誰でも知つてゐる有名な流浪の女つて一體何だ、いよ／＼判らないな。」

「どうも君は始末をへなないな、支那の海岸を流れ歩いていかなければ餘業をやつてゐるさう聞いたはカーマイケルしやらない。」

「さうぞ、私やつぱり先にお呼びよつて、と他人に儀にしてはいけません。」

「いや、君は何時も僕を驚かす。私はこの列車が豫定通りに上海へ着かぬや、噂がすまぬ。車内でも再び君にめぐり合はせたいと思つてゐるんだ。」

「たまには妾の事思ひ出しなさい。」

「お、お、い、黄石が。」

「これの仲間ですよ。」

「大した男ですな。」

「時にどうぞです。一時間延着思つてゐたよ。」

「貴方は相變らずおやさしう、な、ちつとも變つてゐるさう聞いたはカーマイケルしやらない。」

「さうぞ、私やつぱり先にお呼びよつて、と他人に儀にしてはいけません。」

「いや、君は何時も僕を驚かす。私はこの列車が豫定通りに上海へ着かぬや、噂がすまぬ。車内でも再び君にめぐり合はせたいと思つてゐるんだ。」

「たまには妾の事思ひ出しなさい。」

「お、お、い、黄石が。」

「これの仲間ですよ。」

「大した男ですな。」

「時にどうぞです。一時間延着思つてゐたよ。」

「貴方は相變らずおやさしう、な、ちつとも變つてゐるさう聞いたはカーマイケルしやらない。」

委員會（珈琲協會）は度彼斯イラクのロー

佛國通信社長は語る

佛國の大通信社ハーヴス社長レオン・ロランは目下伯國政變中でリオに滞在せるが、同社長は又の如く訪問記者と面會し次の如く語つた

今や世界の各國は決して單獨となつて續く事には可能と存す。我々は事實上の運命を全世界の全人類のそれに結びつける協同の精神を受容しけるを成すことには肝要である。茲に於て通

信事業——新聞事業の所謂報端の如何に重大なる價值を持つるかを知る。報端は事件の纏繰てはならない。其助因周圍の事情を述べる。報端の生命は得ない。伊に今日の軍艦會戰に觸れたるに於ては政治的のものとして世界一般大衆はに大敵の苦痛を喫つて憂和平を欲して居る故何事には確固たる平和の到來は

移し植へた櫻の木の

どの分も結果が思はしい
誰か丹精を凝らして
の花の名所を作つて呉れ

日本人の衛生法

日本人の衛生法

温浴は我々日本人の習慣に適應とが一つ、此等の分
 したした簡易な衛生法でその効果
 は却らない

一 體 皮膚が荒れて弱くなると同じやうに皮膚でもよく
 滑らかなやうに滑らか 深い層から麤とす類たな
 にして置く様に脂肪を分泌し 出来て来るに従つて反對
 となる皮膚腺のふよのと体温 面の唇は次第に死んで脱
 の調節に大切な働きをする汗 その層が失致り皮膚

て行く一瓜など 生へ

基金寄附者芳名
(第四回發表)

[illegible]

大河内薬化学研究所

小川 小川源右衛門
電話二一四七六
コンセレイロフルタド二二

大和 坊迫健藏
コンデドビニヤール二二

旭 秋田衆三郎
電話二一七八二

東京館 ヲウア街二九一
仲村渠三郎

末廣 コンデドビニヤール一C
中山忠太郎
電話二一五六三八

常盤 石原桂造
コンデダサルゲダス四一

アルケールを一區と
三年賦拂無利子

耕地内には既に開墾開始中
日英兩植民ちあり
御用お方は日本文で直接耕
地支配人宛御照會ありたし

今田求

リンス裁判所前